

第433回和漢研セミナー

講演者 城村 由和 博士

金沢大学がん進展制御研究所 教授

演 題 細胞老化を標的とした先進的な健康寿命延伸法の創出を目指して

日本では超高齢化の進行により、2016年時点で健康寿命と寿命は男性で8.8歳、女性で12.3歳の乖離しており、持続可能な社会の実現には健康寿命の延長が急務の課題である。根本的解決には個体老化や加齢性疾病の制御機構を理解し、治療・予防技術を開発することが必要である。近年、老化細胞が個体の加齢に伴い様々な組織に蓄積すること、遺伝的手法での個体からの老化細胞除去により老化形質の発現が遅れることが示された。つまり、老化細胞を個体から除去可能な薬剤（セノリティクス）の開発は健康寿命の延伸につながると考えられる。最近になり、我々は老化細胞の有する代謝特性に着目して、グルタミナーゼ阻害剤がセノリティクスとして有効であり、様々な加齢性変化や動脈硬化症などの加齢関連疾患などの症状を改善できることを明らかにした。一方、生体における老化細胞の一細胞解析等から、免疫学的アプローチによるセノリティクスが可能であることも分かってきており、本発表ではそれらの最新の知見について解説するとともに、セノリティクスに代わる新たな老化細胞制御法の可能性についても紹介したい。

日 時： 2023年2月17日(金) 15時00分 ～ 16時00分

場 所： 薬学部Ⅱ棟7階セミナー室 8（杉谷キャンパス）

主催：和漢医薬学総合研究所

連絡先：生体防御学領域 早川芳弘(076-434-7620)